

事務事業実績測定調査

事務事業名称	保健センター維持管理事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	母子保健課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	内部管理			特性		内部事務		区分		一般内部管理事務
事業期間	1987(S62)年度			年度	～				年度まで	
根拠法令等	枚方市保健所条例・枚方市保健所条例施行規則									
関係補助金名称							サンセット		-	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		保健センターを利用する市民							
	サブターゲット		保健センター職員							
	ターゲットが抱える課題		健康に関する様々なニーズで保健センターを利用するため、適正に設備・建物の管理をする必要がある。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安心して安全快適に保健センターを利用できる。									
事業概要	保健センターにおける各種事業が円滑に行われるよう設備・建物を適正に管理する。 施設管理に関する委託事業：・清掃委託 ・警備委託 ・冷暖房設備保守点検委託 ・自家発電設備保守点検委託・環境測定業務委託 ・防災設備保守点検委託 ・受水槽、高架水槽清掃委託 その他									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						保健センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。				
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
							修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検実施件数			
	指標種類		単位				単位				単位			
							増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)					100	100	100	100	53	53	53	53
		実績					86	72.50			53	52		
	達成度						73%				98%			
分析						概ね予定していた修繕を行い、突発的な施設設備修理も行った。				コロナ禍で、消防設備点検が3月実施予定分が4年度4月にずれたため減少した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.77
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,612	4,785	6,050		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	1,110	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	5,612	5,895	6,050		
	物件費計		54,199	97,651	53,726	54,391	99%
歳出計		59,811	103,546	59,776			
歳入	国庫支出金		0	0	2,952	3,319	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	27,300	0	0	
	その他		16,074	4,528	2,384	1,264	
	歳入計		16,074	31,828	5,336	4,583	
一般財源			43,737	65,823	48,390	49,808	

5. 総括的分析

総括的分析	保健センターは、開設から30年以上が経過し、建物・各種設備が老朽化し、維持管理の労力や工事・修繕費用が必要な設備等が増加している。現在の予算額では、工事・修繕ができないものも出てきている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	保全計画等により、引き続き補修工事等を行い、母子保健事業の移転に向けて事務所など改修を検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		予防接種事業																	
測定年度		2021(R3)年度			部		健康福祉部			課	母子保健課								
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2	○		R3	R4									
総合計画体系		基本目標		2.健やかに、生きがいを有って暮らせるまち															
		施策目標		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち															
		実行計画名		7-1.感染症対策の推進															
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス			特性		非選択的事業			区分		非選択的事務事業							
事業期間		1951(S26)年度			年度		～		年度まで										
根拠法令等		予防接種法																	
関係補助金名称		定期予防接種(A類疾病)補助金 定期予防接種(B類疾病)補助金 定期接種再接種費用補助金 風しんワクチン等接種事業補助金 高齢者肺炎球菌ワクチン接種補助金						サンセット		2020(R2)年度		～	2022(R4)年度						
関係附属機関名称		予防接種健康被害調査会																	
事業対象		メインターゲット		予防接種対象の市民															
		サブターゲット																	
		ターゲットが抱える課題		感染症の発症リスクを持つ															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		適切に疾病を予防することができ、公衆衛生の向上・健康増進が図られる。																	
事業概要		①定期A類予防接種(B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、4種混合、3種混合、ポリオ、麻しん・風しん混合(MR)、2種混合、日本脳炎、子宮頸がん予防ワクチンに加え、令和元年度から風しんの抗体を持たない男性に対する風しん5期予防接種を開始)委託医療機関にて通年実施。費用:無料。 ②定期B類予防接種(高齢者インフルエンザは10月1日～翌年1月末まで、高齢者肺炎球菌は通年で委託医療機関にて実施。自己負担:インフルエンザワクチン1,500円、肺炎球菌ワクチン2,000円(免除制度あり))。 ③任意予防接種:高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成。助成額:3,500円。風しん対策として風しん抗体検査で抗体を保有しない人に対し、風しんワクチン、麻しん風しん混合(MR)ワクチン接種費用の公費助成。自己負担額:風しんワクチン1,000円、麻しん風しん混合(MR)ワクチン3,000円。 ④予防接種費用償還:取り扱い医療機関以外で接種した場合、償還払い制度あり。 ⑤予防接種再接種費用の助成。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
						対象者が定期A類予防接種を受ける。				定期A類予防接種事業を実施する。									
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
						MR1期(麻しん・風しん含む)の接種率 【算出式:接種者数÷対象者数×100】				予防接種実施箇所数(令和元年134箇所)									
				単位				単位		%				単位		箇所			
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)										95		95		95		95	
		実績										97		88					
達成度						93%				97%									
分析						目標は、概ね達成することができた。				取り扱いの医療機関数は、概ね確保できている。									
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
						対象者が定期B類予防接種を受ける。				定期B類予防接種事業を実施する。									
指標設定②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
						高齢者インフルエンザ予防接種接種率 【算出式:接種者数÷対象者数×100】				予防接種実施箇所数(令和元年218箇所)									
				単位				単位		%				単位		箇所			
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)										50		50		50		50	
		実績										66		53.55					
達成度						107%				100%									
分析						インフルエンザ接種費用が有償化したため、接種率は下がった。				取り扱いの医療機関数は、確保できている。									

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						対象者が任意予防接種を受ける。				任意予防接種への補助事業を実施する。				
指標設定③	指標説明						風しん抗体検査で抗体価が低いとされた人の 予防接種率 【算出式:接種者数÷対象者数(抗体価が低いとされた人)×100】				風しん対策事業の実施箇所数(令和元年120箇所)			
	指標種類		単位				単位				%			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2R3R4R5				R2R3R4R5				R2R3R4R5			
	目標(見込)						100100100100				120120120120			
	実績						7745.40				136136			
	達成度										113%			
	分析						予防接種が必要な方の5割以上が受けていない状況がある。				取り扱いの医療機関数は、確保できている。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	3.36
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.54
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	30,865	28,710	26,400		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,083	888	2,370		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	47			
		人件費計	31,948	29,645	28,770		
	物件費計		949,755	1,113,614	998,932	1,118,939	89%
歳出計			981,703	1,143,259	1,027,702		
歳入	国庫支出金		18,193	46,494	26,127	42,652	
	府支出金		12,659	108,948	12,383	14,860	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		30,852	155,442	38,510	57,512	
一般財源			950,851	958,172	960,422	1,061,427	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍ではあったが、予防接種の接種率の減少はなく、概ね目標は、達成できている。風しん対策事業は、令和3年度が最終年度となるため、抗体検査未実施者、未接種者への周知が必要である。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	関係機関とも連携し接種しやすい環境を整えるとともに、予防接種についての啓発活動を継続実施し、接種率の向上を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	妊産婦健康診査事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	母子保健課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち							
	実行計画名		14-1.母子の健康づくりの推進							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	1997(H9)年度			年度	～	年度まで				
根拠法令等	母子保健法									
関係補助金名称	妊婦健康診査補助金、産婦健康診査補助金						サンセット	2020(R2)年度		～ 2022(R4)年度
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		全ての妊産婦							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		妊産婦の健康診査は自費診療であるため、経済的負担がある。予期せぬ妊娠等により経済的にゆとりがない場合、受診が遅れたり受診回数を減らさざるを得なくなる恐れがある。中でも多胎妊娠は、母体への負担と出産前後の合併症のリスクが高く、多胎児は単胎児に比べて低出生体重児や障害児となるリスクが高い。そのため、妊娠管理が重要であることから妊婦健康診査の回数が多くなる。さらに、準備する育児物品が多く、長期入院等で予定外の出費が発生することもあり、単胎よりも経済的負担がある。							
	ターゲットが抱える課題		産後の母体や生活の変化により、心身に不調をきたす恐れがある。							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	妊娠中から母体管理を行うことで安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。									
事業概要	妊娠届出時に母子健康手帳などと併せて、妊婦健康診査受診券14枚、産婦健康診査受診券2枚、妊産婦歯科健康診査受付票1枚を交付。妊婦健康診査は平成25年度から助成額を増額した(1回目24,780円、4回目9,820円、8回目17,340円、10回目8,140円、12回目11,400円、他5,040円。合計116,840円)。健診内容は、国基準に準ずる。産婦健康診査は、平成29年10月より開始している(1回あたり上限5,000円。合計10,000円)。国の母子保健医療対策総合支援事業(母子保健衛生費国庫補助金)として実施し、健診内容は国の要綱に基づく。母体の健康管理のみならず、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の整備を図る。妊婦健康診査及び産婦健康診査は、大阪府及び京都府内の医療機関、助産所において健康診査受診時に受診券の金額分を助成する。また委託医療機関以外での受診分については償還する。妊産婦歯科健康診査は、妊娠中から産後1年未満の間に枚方市内委託歯科医療機関で無料実施。 多胎妊娠している妊婦に、妊婦健康診査受診券を追加で5枚(49,100円分)配付する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。				妊産婦が経済的不安を感じることなく受診できる。				妊娠届出時に母子健康手帳などと併せて、妊婦健康診査受診券を配付する。				
指標設定	指標説明	アウトカム				アウトプット				インプット				
		「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができた」と感じる人の割合				妊婦健康診査受診件数				母子健康手帳別冊(産婦健康診査受診券等の綴り)配付件数				
	単位		%		単位		件		単位		件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標(見込み)	91	93	95	97	31,500	30,600	29,900	29,400	2,849	2,773	2,715	2,676
		実績	88	88.80			30,231	30,704			2,734	2,799		
達成度	95%				100%				101%					
分析	目標値には至らなかったが、昨年度値を上回り、概ね達成できた。				目標値を上回り、達成できた。				目標値を上回り、達成できた。					

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。				対象者が産婦健康診査を受ける。				産婦健康診査の実施により医療機関等との連携を深め、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定②	指標説明	「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができた」と感じる人の割合				産婦健康診査受診件数				母子健康手帳別冊(産婦健康診査受診券等の綴り)配付件数			
		単位 %				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	91	93	95	97	5,109	4,825	4,665	4,509	2,849	2,773	2,715	2,676
	実績	88	88.80			3,947	4,311			2,734	2,799		
	達成度	95%				89%				101%			
分析	目標値には至らなかったが、昨年度値を上回り、概ね達成できた。				新型コロナウイルス感染症の流行により受診が難しい状況等もあったが、昨年度の実績を上回り、概ね達成できた。				目標値を上回り、達成できた。				
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。				対象者が妊産婦歯科健康診査を受ける。				妊娠届出時に母子健康手帳などと併せて、妊産婦歯科健康診査受付票を配付する。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定③	指標説明	「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができた」と感じる人の割合				妊産婦歯科健康診査受診件数				母子健康手帳別冊(妊産婦歯科健康診査受付票等の綴り)配付件数			
		単位 %				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	91	93	95	97		832	869	937		2,773	2,715	2,676
	実績	88	88.80				840				2,799		
	達成度	95%				101%				101%			
分析	目標値には至らなかったが、昨年度値を上回り、概ね達成できた。				目標値を上回り、達成できた。				目標値を上回り、達成できた。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.67
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
(千円)

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,595	16,933	13,556		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	320	338	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	16,915	17,271	13,556		
物件費計	297,488	281,042	287,825	305,482	94%	
歳出計		314,403	298,313	301,381		
歳入	国庫支出金	12,774	13,300	11,262	11,974	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	142	132	132	142	
	歳入計	12,916	13,432	11,394	12,116	
一般財源		301,487	267,610	276,431	293,366	

5. 総括的分析

令和3年度は、多胎妊娠している妊婦が経済的負担を軽減し、安心・安全な出産を迎えられるよう、多胎妊娠している妊婦1人につき、妊婦健康診査受診券5枚(1枚につき上限9,820円)を追加配付した。
新型コロナウイルス感染症の流行により受診が難しい状況等もあったが、妊婦健康診査、産婦健康診査、妊産婦歯科健康診査の受診件数は増加した。
妊娠期からの重層的な支援により、産後の支援の満足度は概ね達成できている。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	出生数は減少傾向だが、安心して妊娠・出産できる環境づくりに引き続き取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称																	
母子保健事業																	
測定年度		2021 (R3) 年度				部		健康福祉部			課	母子保健課					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2	R3		○	R4					
総合計画体系		基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち													
		施策目標		14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち													
		実行計画名		14-1.母子の健康づくりの推進													
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス				特性		選択的事業			区分		一般事務事業				
事業期間		不明				年度		～						年度まで			
根拠法令等		母子保健法															
関係補助金名称										サンセット				～			
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		妊娠期から就学前の乳幼児													
		サブターゲット		妊娠期から就学前の乳幼児の保護者													
		ターゲットが抱える課題		成長過程で、発育、発達の助言や支援が必要になる場合がある。													
		ターゲットが抱える課題		身近な相談者がいないことにより、保護者が育児不安になるおそれがある。													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		安心して、子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。															
事業概要		①母子健康手帳交付事業:妊娠届出時に「母子健康手帳」等を交付。 ②母子健康教育・相談事業:多様な形態で母子の健康や子育てに関する相談事業及び健康教育を実施。 ③母子訪問指導事業:委託による助産師の訪問と、保健センター保健師等による訪問を実施。 ④乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室):乳幼児健診等の結果、経過観察の必要な幼児と保護者を対象に集団での指導を実施。 ⑤産後ママ安心ケアサービス(枚方市産後ケア事業):家族からの支援が受けられない等で支援が必要な産後4か月未満の母子を対象に、市内産科医療機関と助産所でショートステイ(宿泊型)、デイサービス(日帰り型)を実施。利用に際しては、母子保健コーディネーターが妊産婦等の相談を行い、産後ケア事業等の必要な支援につなげる。 ⑥母子保健推進連絡会:母子保健施策の充実・強化及び母子保健施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、関係機関・団体と連絡会を実施。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				妊婦等が、妊娠届出時に保健相談を受ける。				妊娠届出を受理し、母子健康手帳を発行する。							
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式:該当者÷アンケート回答者×100】				妊娠届出時の保健相談実施率 【算出式:妊娠届出時の保健相談回数／妊娠届出数×100】				妊娠届出数							
		単位				単位				単位							
		%				%				件							
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標(見込み)		100	100	100	100	2,627	2,551	100	100	2,627	2,551	2,493	2,454		
		実績		97.20	97			2,509	2,551			2,509	2,551				
達成度		97%				100%				100%							
分析		増減なく、概ね達成できた。				想定通り達成できた。				想定通り達成できた。							
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				対象者が相談等を行う。				母子健康教育・相談事業を実施する。							
指標設定②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式:該当者÷アンケート回答者×100】				相談者数				乳幼児健康相談および個別発達相談の実施回数							
		単位				単位				単位							
		%				人				回							
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標(見込み)		100	100	100	100	6,225	6,225	6,225	6,225	341	341	341	341		
		実績		97.20	97			1,804	2,346			242	287				
達成度		97%				38%				84%							
分析		増減なく、概ね達成できた。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施回数や場所が減少し、目標値には至らなかったが実績値を上げることはできた。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施回数が減少し、目標値には至らなかったが実績値を上げることはできた。							

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				対象者が保健師等による訪問を受け、相談等ができる。				母子訪問指導事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				保健師等の訪問による、対象者の相談件数				母子訪問指導を実施する、助産師や保健師の人数			
		単位				単位				単位			
		%				件				人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	5,500	5,500	5,500	5,500	46	46	46	46
	実績	97.20	97			5,936	6,419			38	47		
達成度		97%				117%				102%			
分析		増減なく、概ね達成できた。				目標値を上回り達成できた。				達成できた。			
ロジックモデル④		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				対象者が親子教室に参加する。				乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室)を実施する。			
指標設定④	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室)実在籍数				乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室)を実施回数			
		単位				単位				単位			
		%				人				回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	184	184	184	184	225	225	225	225
	実績	97.20	97			85	89			149	160		
達成度		97%				48%				71%			
分析		増減なく、概ね達成できた。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、乳幼児健康診査を延期又は中止したため、教室につながる児の数が減少した。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休室した期間があり、目標値には至らなかったが実績値を上げることはできた。			
ロジックモデル⑤		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				必要な対象者が市内産科医療機関と助産所でショートステイ(宿泊型)、デイサービス(日帰り型)を受けることができる。				産後ママ安心ケアサービスを実施する。			
指標設定⑤	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				産後ママ安心ケアサービス利用延件数				産後ママ安心ケアサービス実施機関数			
		単位				単位				単位			
		%				件				件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	200	200	200	200	8	8	8	8
	実績	97.20	97			239	211			8	10		
達成度		97%				106%				125%			
分析		増減なく、概ね達成できた。				目標値を上回り達成できた。				目標値を上回り達成できた。			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル⑥		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				関係機関・団体との連携が図られる。				母子保健推進連絡会を開催する。				
指標設定⑥	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				参加機関数				実施回数				
		単位		%										単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	100	100	100	100	9	9	9	9	1	1	1	1
		実績	97.20	97			9	9			1	1		
	達成度	97%				100%				100%				
	分析	増減なく、概ね達成できた。				達成できた。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、紙面開催となったが、達成できた。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	17.34
任期付職員	0.30
会計年度任用職員	8.08
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	147,812	176,109	137,545		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	23,678	25,664	23,251		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	171,490	201,773	160,796		
	物件費計	28,138	110,916	233,068	302,841	77%	
歳出計			199,628	312,225	393,864		
歳入	国庫支出金		9,449	53,204	14,498	15,528	
	府支出金		4,841	4,345	2,889	3,347	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		31	0	2,631	0	
	歳入計		14,321	57,549	20,018	18,875	
一般財源			185,307	52,903	213,050	283,966	

5. 総括的分析

総括的分析	妊婦支援として、母子健康手帳交付時に、ひらかたポイントの付与を行った。 新型コロナウイルス感染症の流行により、各種事業の中止や延期、予約や運営方法の変更(オンライン化)など多くの対応を行ったが、感染対策や市民への周知を徹底し実施した結果、半数以上の事業は目標値を達成できた。 活動効果指標である「この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合」にも影響はなく、概ね達成できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	感染症が新たに流行しても、必要時にスムーズに相談ができ、サービスが利用できる体制を確保していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称																			
乳幼児健康診査事業																			
測定年度		2021(R3)年度			当初		部		健康福祉部			課		母子保健課					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		○		R3		○					
総合計画体系		基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち															
		施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち															
		実行計画名		15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり															
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス			特性			選択的事业			区分			一般事務事業					
事業期間		1979(S54)年度			年度			～						年度まで					
根拠法令等		母子保健法																	
関係補助金名称		新生児聴覚検査補助金								サンセット		2018(H30)年度		～		2021(R3)年度			
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		各種健診の対象児 ①乳児一般健康診査(1歳未満)乳児後期健康診査(9か月～1歳未満)②4か月児健康診査(4～6か月未満)、1歳6か月児健康診査(1歳6か月～2歳未満)、2歳6か月児歯科健康診査(2歳6か月～3歳未満)、3歳6か月児健康診査(3歳6か月～4歳未満)③二次健診(発育・発達等経過観察が必要な児)④新生児聴覚検査(生後2日～1か月)															
				サブターゲット		各種健診の対象児の保護者													
		ターゲットが抱える課題		成長過程で、発育、発達の助言や支援が必要になる場合がある。															
		ターゲットが抱える課題		児の成長や発達状況に応じた、育児や発達のアドバイスを必要としている。															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。																	
事業概要		①個別健診(乳児一般健康診査、乳児後期健康診査) ②集団健診(4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査)、集団健診未受診児に対して健診案内の再通知及び保健師による家庭訪問の実施 ③二次健診(健診A・B):①②の健診等でさらに専門的な診察が必要な児に、保健センターにて予約制(無料)で実施 ④新生児聴覚検査(平成30年10月から開始、令和2年度から、再検査となった児を対象として、再検査費用を助成)																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が個別健診を受診する。				個別健診を実施する。									
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式:該当者÷アンケート回答者×100】				後期健診受診者数				後期健診受診券の発行									
		単位				単位				単位									
		%				人				件									
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標(見込み)		100		100		100		100		2,569		2,495		2,438		2,400	
		実績		97.20		97						2,468		2,269					
達成度		97%				91%				99%									
分析		乳幼児健康診査を実施し、子どもの発達や子育てについて支援することで、安心して子育てができ、この地域で子育てしたいという思いにつながった。				新型コロナウイルス感染症流行下による、医療機関への受診控えか、受診率がやや減少した。				4か月児健康診査にて発行するとともに、転入者などには郵送や訪問にて発行した。									
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (4か月児健康診査)									
指標設定②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式:該当者÷アンケート回答者×100】				乳幼児健康診査の受診率 【算出式:受診人数÷対象者数×100】				対象人数に応じた、実施回数。									
		単位				単位				単位									
		%				%				回									
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標(見込み)		100		100		100		100		100		100		100		100	
		実績		97.20		97						96		95.90					
達成度		97%				96%				100%									
分析		乳幼児健康診査を実施し、子どもの発達や子育てについて支援することで、安心して子育てができ、この地域で子育てしたいという思いにつながった。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、医療機関で個別健診として実施していたが、令和3年度集団健診を感染症対策に留意しながら再開し、高い受診率を維持できた。				集団健診を再開し、感染症予防対策を講じるため、回数を増加して実施した。									

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。					対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (1歳6か月児健康診査)			
指標設定③	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】					乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数÷対象者数×100】				対象人数に応じた、実施回数。			
	指標種類					指標種類				指標種類			
	増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2R3R4R5					R2R3R4R5				R2R3R4R5			
	100100100100					100100100100				37404040			
	97.2097					94.9093.60				4940			
ロジックモデル④	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。					対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (2歳6か月児歯科健康診査)			
指標設定④	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】					乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数÷対象者数×100】				対象人数に応じた、実施回数。			
	指標種類					指標種類				指標種類			
	増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2R3R4R5					R2R3R4R5				R2R3R4R5			
	100100100100					100100100100				36414141			
	97.2097					083.30				041			
ロジックモデル⑤	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。					対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (3歳6か月児健康診査)			
指標設定⑤	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】					乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数÷対象者数×100】				対象人数に応じた、実施回数。			
	指標種類					指標種類				指標種類			
	増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2R3R4R5					R2R3R4R5				R2R3R4R5			
	100100100100					100100100100				38424242			
	97.2097					85.8086.90				5042			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が二次健診を受診する。				二次健診を実施する。			
指標設定⑥	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				受診率 【算出式: 受診者数／案内発送数×100】				対象人数に応じた、二次健診の実施回数			
				単位	%			単位	%			単位	回
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	52	52	52	52
		実績	97.20	97			92.80	90.30		45	48		
	達成度	97%				90%				92%			
分析		乳幼児健康診査を実施し、子どもの発達や子育てについて支援することで、安心して子育てができ、この地域で子育てをしたいという思いにつながった。				新型コロナウイルス感染症による受診控えなどにより、受診率はやや低下した。				新型コロナウイルス感染症による、兄弟の休校や休園など受診控えがあり、回数を集約して実施した。			
ロジックモデル⑦		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が新生児聴覚検査を受診する。				新生児聴覚検査を実施する。			
指標設定⑦	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				新生児聴覚検査受診者率 【算出式: 受診者数／出生数 × 100】				受診券配付数(母子健康手帳発行数)			
				単位	%			単位	%			単位	件
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	2,857	2,781	2,723	2,454
		実績	97.20	97			91.70	92.10		2,734	2,551		
	達成度	97%				92%				92%			
分析		乳幼児健康診査を実施し、子どもの発達や子育てについて支援することで、安心して子育てができ、この地域で子育てをしたいという思いにつながった。				再検査の助成も定着し、昨年度よりやや増加した。				転入者も含め受診券を発行した。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	8.50
任期付職員	0.30
会計年度任用職員	7.85
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	94,613	75,999	68,090		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	20,293	21,081	25,069		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	114,906	97,080	93,159		
	物件費計		57,704	73,071	57,898	64,621	90%
歳出計		172,610	170,151	151,057			
歳入	国庫支出金		0	11,023	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	11,023	0	0	
一般財源			172,610	62,048	57,898	64,621	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度から新たに3歳6か月児健康診査においてスポットビジョンスクリーナーを用いた眼科検査を導入し、弱視などを早期に発見し、適切な医療につなげた。新型コロナウイルス感染症流行により、保育園の休園や、学校の休校があった時は、集団健診の受診を控えていただく場合もあり、受診率がやや減少する健診もあった。また、感染症予防対策の為、健診1回あたりの受診者数を制限したが、回数を増加するなどの対応を行うことで、感染対策と受診機会の確保の両方に対策を行うことができた。 新型コロナウイルス感染症対策の為、個別の医療機関で実施していた4か月児健康診査や中止していた2歳6か月児健康診査を再開し、乳幼児健康診査で保健指導や育児不安の相談を行うなど、子育てに寄り添った対応が実施できた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も安心して子育てができるよう、健診回数を確保し、感染症対策を講じた乳幼児健康診査を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	身体障害児及び長期療養児等療養指導事業									
測定年度	2021 (R3) 年度			部	健康福祉部			課	母子保健課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち							
	実行計画名		15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	2014 (H26) 年度			年度	～				年度まで	
根拠法令等	児童福祉法									
関係補助金名称							サンセット		～	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児								
	サブターゲット	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児の保護者								
	ターゲットが抱える課題	児の障害や疾病の状況によって生活上の課題（移動、食事、排泄等）や発達の課題が異なるため、個々にあわせた専門的かつ具体的な助言を必要としている。								
	ターゲットが抱える課題	保護者は介護や通院によって多忙なため、支援サービス等の情報が得られにくい。								
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	適切な助言や情報提供を受けることによって、親子ともに安心・安全に生活を送ることができ、児の発育・発達が促される。									
事業概要	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児に対し、その状況に応じた適切な指導を行い、日常生活における健康の保持・増進及び福祉の向上を図る。 内容：医師、歯科医師、心理相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等による健康診査及び相談を、来所または家庭訪問により実施する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	親子ともに安心・安全に生活を送ることができ、児の発育・発達が促される。				対象者が健康診査や相談を利用する。				医師等専門職による健康診査及び相談を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	療育相談利用者の満足度 【算出式:満足と回答した人÷利用者×100】				療育相談利用者数				療育相談実施回数			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2				R2				R2			
	R3				R3				R3			
	R4				R4				R4			
達成度				99%	72%				96%			
分析				相談時間が限られているため、1回の利用で全ての質問に応じきれなかったケースがあったが、後日別の形で相談に応じた。	本事業の対象児は、感染症で重症化する児も少なくないため、新型コロナウイルス感染症流行の影響により利用者数が減少している。				例年通りの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少したため、実施回数も減少した。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	18,760	11,138	10,607		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	18,760	11,138	10,607		
	物件費計		877	517	569	842	68%
歳出計			19,637	11,655	11,176		
歳入	国庫支出金		451	452	434	434	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		451	452	434	434	
一般財源			19,186	65	135	408	

5. 総括的分析

総括的分析	本事業は、対象児の保護者からの希望、もしくは専門職からのすすめで利用につながっている。対象児の中には感染症により重症化する児も少なからずいるため、個別対応で実施し、外出が困難な場合は訪問での対応も実施しているが、新型コロナウイルス感染症流行下では利用を控える傾向にある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染予防に留意しながら、対象児に利用をすすめていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	母子保健課運営事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	健康福祉部				課	母子保健課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標			9.施策体系外										
	施策目標			99.施策体系外										
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性		庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務			
事業期間	2020(R2)年度				年度	～						年度まで		
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称									サンセット				～	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		地域健康福祉室 母子保健担当職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		各種事業を適正かつ市民のニーズに応えるべく実働する必要がある											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	母子保健担当所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。													
事業概要	課の運営業務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明													
			単位		単位		単位							
	指標種類													
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)												
		実績												
達成度														
分析														

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.95
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	4.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	11,883	7,464		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	6,422	10,458		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	—	18,305	17,922		
	物件費計		—	6,060	3,770	4,036	93%
歳出計		—	24,365	21,692			
歳入	国庫支出金		—	0	0	0	
	府支出金		—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	0	0	0	
	市債		—	0	0	0	
	その他		—	0	0	0	
歳入計		—	0	0	0		
一般財源			—	6,060	3,770	4,036	

5. 総括的分析

総括的分析	毎日の朝礼、夕礼、毎月の課内会議にて、職員間の情報共有を行い、母子保健担当の業務を円滑に実施できる体制を維持している。切手等の管理、拾得物の管理方法などと本庁と同様に適切に管理を行うことを周知し、啓発を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	毎日の朝礼、夕礼、毎月の課内会議にて、職員間の情報共有を行い、母子保健担当の業務を円滑に実施できる体制を維持していく。切手等の管理、拾得物の管理方法などと本庁と同様に適切に管理を行っていく。